

日本地衣学会

No.66

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告	233
	第4回観察会(長野県入笠山周辺)の報告/木下靖浩・安斉唯夫	233
	第4回観察会(長野県入笠山周辺; 2005年10月8-9日)で観察された地衣類 /原田浩・木下靖浩・安斉唯夫	234
	写真館	235
	地衣にもぐりこんだテントウ虫/原田浩	235

会務報告 Report of the JSL Activities

第4回観察会(長野県入笠山周辺)の報告

Report of the 4th JSL Field Meeting on Mt. Nyugasa and vicinity, Nagano-ken, central Japan

木下靖浩 (Yasuhiro KINOSHITA) ・ 安斉唯夫 (Tadao ANZAI) : 地域活性化委員会関東

長野県富士見町および長谷村において地衣学会主催第4回観察会が開催されましたので、報告いたします。

開催日: 2005年10月8日
(土) ~ 9日(日)

開催場所: 長野県諏訪郡富士見町および上伊那郡長谷村

講師: 原田浩氏(千葉県立中央博物館)

参加者: 22名(講師を含む)

* * *

入笠山周辺では今までにも何回か地衣類を観察する会が開催されています。亜高山帯に生



図1. 観察会初日。土砂降りの中での採集会となった。撮影: 原光二郎。



図2. 宿での観察実習。土砂降りの中での採集品を実体顕微鏡下でじっくり心行くまで観察することができた。撮影：原光二郎。

育する地衣類を気軽に観察できる貴重な場所で、今回の観察会も大勢の参加者を得て開催することができました。

初日は天気が悪く、入笠山山麓の富士見公園、富士見小学校で観察していた午前中は何とか小雨でおさまっていましたが、入笠山山頂付近で観察をしていた午後には土砂降りになり(図1)、早々に宿の山彦荘に引き上げざるを得なくなってしまいました。しかしながら今回

は初日午後の観察場所での採集許可を森林管理署からいただいていたので若干量の地衣類を採集していましたが、宿に入ってからその採集品を食堂で広げさせていただいたの標本観察会を実施(図2)。短時間の採集ではありましたが種々の地衣を採集できており、講師の原田さんの名解説を聞きながら、参加者の数人の方に持ってきていただいた実体顕微鏡を使って、野外の観察では見られない細かな点まで確認することができました。解説、標本、顕微鏡と3点を揃える必要がありますが、参加してくださった方々に好評をいただき、次の機会にも実施したいと考えています。

翌日は好天に恵まれ、入笠山にちなんで名付けられたニューガサウメノキゴケ(*Hypotrachyna sinuosa*)探しをするなどして、亜高山帯の地衣に親しむ2日間を終えました。

最後になりましたが、富士見小学校、山彦荘の伊東さんご夫妻、また観察会にご参加いただいた富士見町の方々に感謝いたします。

第4回観察会(長野県入笠山周辺; 2005年10月8-9日)で観察された地衣類 Lichens observed at the 4th JSL Field Meeting on Mt. Nyugasa, Nagano-ken, Central Japan, 8-9 October 2005

原田 浩(Hiroshi HARADA)¹⁾・木下靖浩(Yasuhiro KINOSHITA)²⁾・安斉唯夫(Tadao ANZAI)³⁾ :

¹⁾ 千葉県立中央博物館・²⁾ 横浜市・³⁾ ゼルグブランニング

上述の観察会において、現地にて(あるいは山彦層にて)同定した地衣類のリストを以下に示す。なお、これはあくまでも暫定リストであり、最終的なリストは標本精査後に *Lichenology* 誌上で公表する予定である。

樹状

<i>Alectoria lata</i>	ホネキノリ
<i>Baeomyces placophyllus</i>	ヒロハセンニンゴケ
<i>Baeomyces rufus</i>	アカセンニンゴケ
<i>Bryoria confusa</i>	オオオニノヒゲ
<i>Bryoria furcellata</i>	コフキイバラキノリ
<i>Bryoria lactinea</i>	フジキノリ

Bryoria trichodes ハリガネキノリ
Cladonia chlorophaea ジョウゴゴケ
Evernia esorediosa ヤマヒコノリ
Ramalina conduplicans カラタチゴケ
Ramalina exilis ホソカラタチゴケ
Ramalina geniculata var. *geniculata* ツツレカラタチゴケ
Ramalina yasudae イワカラタチゴケ
Usnea glabrata ビホロサルオガセ?
Usnea diffracta ヨコワサルオガセ
Usnea longissima ナガサルオガセ

葉状

Cetrelia chicitae コフキトコブシゴケ
Cetrelia monachorum コフキトコブシゴケモドキ
Collema pulcellum var. *pulcellum* コブクレカワホリゴケ
Dermatocarpon miniatum カワイワタケ
Endocarpon japonicum サワノミドリゴケ
Flavoparmelia caperata キウメノキゴケ
Hypogymnia hypotrypea リボンゴケ
Hypogymnia nikkoensis ニッコウフクロゴケ
Hypogymnia pseudophysodes var. *pseudophysodes* フクロゴケモドキ
Hypogymnia pulverata ヒメリボンゴケモドキ
Hypogymnia vittata ヒメリボンゴケ
Hypotrachyna sinuosa ニュウガサウメノキゴケ
Imshaugia aleuritica ゴハイゴケ
Lobaria japonica? ツヤナシエヒラゴケ?
Lobaria spathulata ヘラガタカブトゴケ
Melanelia olivacea オリーブゴケ
Myelochroa metarevoluta コフキチョロギウメノキゴケ

Nephroma helveticum f. *helveticum* ウラミゴケモドキ
Nephroma parile ヘリトリウラミゴケ
Nephroma resupinatum ケウラミゴケ
Parmelia aduagescens? コウマクカラクサゴケ?
Parmelia laevior テリハゴケ
Parmelia shinanoana シナノウメノキゴケ
Parmelia squarrosa カラクサゴケ
Peltigera didactyla フィリツメゴケ
Peltigera neopolydactyla ナガネツメゴケ
Peltigera praetextata チチレツメゴケ
Pilophorus clavatus カムリゴケ
Placopsis cribellans デイジゴケ
Platismatia interrupta ウスバトコブシゴケ
Pseudocyphellaria crocata ニセキンブチゴケ
Stictia fuliginosa コウヤクゴケ
Tuckermannopsis americana ヒゲアワビゴケ
Tuckermannopsis gilva オーアケシゴケモドキ
Tuckneraria laureri コナヘリウスカワゴケ
Tuckneraria psuedocomplicata ウスカワゴケ
Umbilicaria esculenta イワタケ
Umbilicaria kisovana ヒメイワタケ
Vulpicida pinastri コナハイマツゴケ

痂状

Caloplaca flavorubescens ダイダイゴケ
Candelariella vitellina ロウソクゴケモドキ
Mycoblastus sanguinarius クロアカゴケモドキ
Ochrolechia pallescens ニクイボゴケ
Psilolechia lucida コナゴケ
Tephromela atra クロイボゴケ
Verrucaria aquatilis サワイボゴケ(新称)

写真館 Photo Gallery

地衣にもぐりこんだテントウ虫

Lady beetles under a foliose lichen, *Rimelia clavulifera*

原田 浩 (Hiroshi HARADA) : 千葉県立中央博物館

地衣類を丹念に観察していると、思わぬ光景に出くわすことがある。次のページの図 1 もその一こま。

3月27日の朝、伊豆での調査の折、山里の更に奥の

林道脇の、慰霊碑の台座となる石垣を観察していた時のこと、マツゲゴケ *Rimelia clavulifera* (Räsänen) Kurok. の下にテントウ虫(ナミテントウ *Harmonia*



図1. マツゲゴケの下にはナミテントウがもぐりこんでいた。6匹が塊っており、そのうち4匹の姿が見える。静岡県西伊豆町某所。2006年3月27日10時50分。

axyridis)が6匹もぐりこんでいるのを見つけた(図1)。越冬していたのだろうか?私とその付近の調査を終え立ち去る15時半過ぎには、4匹に減っていた。前日には松崎町の川沿いの満開のソメイヨシノの並木を眺め、

当日はまた海岸線の満開の桜を見てきたところだった。溪谷にはミツマタも咲いていた。春の陽気に誘われて、2匹は飛び立ったのだろう。

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌62号222ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 62, p. 222 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 66号

発行日：2006年4月17日

編集：原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内

©2006 日本地衣学会 (© 2006 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。